

地域医療従事者研修
会 アンケート結果

○H27.5.28開催分
参加者

院内	29
院外	46
計	75

1. 資格・職種(重複回答あり)

看護師	25
ケアマネージャー	15
社会福祉士	6
医師	5
介護福祉士	5
主任ケアマネージャー	5
療法士(PT・OT・ST)	3
ヘルパー	3
薬剤師	2
栄養士	2
福祉用具プランナー	2
保健師	1
見守り推進	1
計	75

2. 理解度

理解できた	41
まずまず理解できた	13
少し理解できた	3
理解できなかった	1
計	58

3. 内容は今後活用できる?

活用できる	42
だいたい活用できる	14
あまり活用できない	1
無回答	1
計	58

4. 研修開催時間

ちょうど良い	54
長い	2
短い	2
計	58

5. 今後このような研修に

参加する	58
参加しない	0
計	58

地域医療従事者研修
会 アンケート結果

○H27.11.26開催分
参加者

院内	16
院外	34
計	50

1. 資格・職種(重複回答あり)

看護師	21
ケアマネージャー	10
社会福祉士	1
医師	1
介護福祉士	5
主任ケアマネージャー	2
療法士(PT・OT・ST)	
ヘルパー	4
薬剤師	3
栄養士	
福祉用具プランナー	3
保健師	
見守り推進	
1種衛生管理者	1
計	51

2. 理解度

理解できた	28
まずまず理解できた	10
少し理解できた	2
理解できなかった	
無回答	1
計	41

3. 内容は今後活用できる?

活用できる	31
だいたい活用できる	9
あまり活用できない	1
無回答	
計	41

4. 研修開催時間

ちょうど良い	40
長い	
短い	1
無回答	
計	41

5. 今後このような研修に

参加する	40
参加しない	
無回答	1
計	41

6. 「研修内容についての意見・感想をご記入ください」

- ・わかりやすい内容でありがとうございました。
- ・難しい言葉を使わず、とても理解しやすく良かった。又JCHOの緩和ケア病棟が詳しくわかって良かった。（利用者に説明が少し出来る）
- ・数年前、担当する利用者が緩和ケア病棟の看護師・医師と連携を取らせていただいたことがありましたが、ご家族・キーパーソンの協力が少ない中でも最期まで穏やかに接して下さったこと思い出しました。今後も医療・地域連携に努力していきたいです。
- ・残念ながら私の受け持ってきた利用者様には緩和ケア→在宅に移行する方がおらず、4・5人に1人は在宅に戻られるというはおどろきました。私自身も緩和ケア病棟＝最期…という考えでした。実際多くのケアマネージャーも同じような考えの方が多くおられると思っております。ありがとうございました。
- ・今日の研修に参加して、癌を恐れることなく自分がかんになっても安心だなと思った。
- ・貴院の緩和ケアにお世話になった方を担当したことがあり、その方のこと思い出し、涙が出そうになりました。チーム医療の中で堂々と生きられました。
- ・在宅ケアから緩和ケア病棟へ入院されると、「もう帰ってこれない」という負のイメージがあり、在宅からすると受け入れ難い気持ちがあった。今後は緩和ケアに入っても在宅復帰される可能性があるという事も考えを見直していきたい。
- ・患者さんへの対応として、杉山さんの資料の中にあつた「患者・家族が嬉しいと感じること」を参考にさせて頂きたいと思います。
- ・身体面・精神面・社会面・金銭面など様々な苦痛を抱え込む患者さんやその後家族の方々に自分らしい生活・切れ目のない医療を提供するためにチーム医療の連携は非常に重要なものと感じました。コミュニケーションの取り方・患者心理を知ることが出来て良かったと思いました。
- ・今後も在宅と連携をお願いします。緩和ケア病棟がある為、私たちも心強いです。研修とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・がん患者様との接し方を学びました。緩和病棟が最後の場所だと思っていましたが、今回の説明でいろいろな活用が出来るとわかりました。
- ・職員ですが家族が数年前に緩和ケアの面談を受け、KPとして説明を受けました。お世話になる機会なく他界となりましたが、職業柄在宅で看取りという場面にも介することが増えています。又病院の方に聞きにくいことをケアマネに質問されることも多く、在宅に関わる者として上手く利用者様に緩和ケアのことを伝えられるようになりたいと思いました。まだまだ看護師さんにさも聞きにくいと思われる方も多いです。
- ・「そっと寄り添う」簡単であり難しいことですね。目標に頑張りたいと思いました。
- ・特養で働いていますが、ショートステイなど短期利用時の対応もこれでいいのかと悩むことが多いです。

- ・日々の業務の中で（訪問入浴）癌のお客さまもいらっしゃって、痛みのコントロールをしながら入浴される方もいらっしゃいます。もう少しその方々に接する仕方もお話してほしかったです。大まかな緩和ケアについては、大変理解できました。ありがとうございました。
- ・在宅でも終末期のお客さまが増えてこられており、声一つ一つが大切だという事がよくわかりました。ご本人だけでなく、ご家族様にも声かけが必要だと勉強になりました。ありがとうございました。
- ・わかりやすい言葉、スライドで緩和ケア病棟・外来についてよく理解できました。緩和病棟から在宅に戻られることがあるとお聞きし、驚きました。在宅に戻られた後のヘルパーとしての役割を努めたいと思います。
- ・勉強になりました。
- ・病院のシステムは変わることを知りました。実は都市伝説のイメージをもっていました。
- ・ありがとうございました。
- ・思い返すだけでも10人以上の方の名前がフルネームで言えるくらい、たくさんの方がお世話になり、ありがとうございます。
- ・チーム医療の重要性・患者・家族へのケアのお話が聞けて、とても勉強になりました。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・かわいいイラストとわかりやすい説明で理解しやすかったです。柔軟な対応が望めそうで心強いと感じました。
- ・お疲れ様でした。ありがとうございます。

7. 「今後このような研修開催に対する要望、希望するテーマがあればご記入ください」

- ・実際の症例などを聞いてみたいです。
- ・是非・在宅に力を入れて頂いて、医療・介護と連携を取れると嬉しいです。
- ・未告知の患者様の在宅での看取りの看護（患者と家族の関わり方）
- ・認知症いろいろ研修に参加してきましたが、まだまだ知りたいこともある（対応の仕方・関わり方など）。
- ・骨折や脳血管疾患後のリハビリについて研修していただきたい。
- ・認知症の介護・看護について
- ・（がん患者の）栄養管理について
- ・病院での今の褥瘡などの処置
- ・発達障害・パーソナル障害
- ・がん治療の最前線について～出来る治療
- ・地域医療連携室の活動も具体的に教えてください。
- ・精神疾患の現状（在宅生活での）・精神疾患患者が介護者で認知症の親を看ているケースが増えているように感じるが、どのように介護職として関わり、医療と連携を取っていけばよいのか、また現状はどうか…勉強出来たらと思います。